

トップメッセージ



頭取と新入行員

皆さまには、平素より、琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

今年も、多くの皆さまに琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」(2014年版ディスクロージャー誌)を作成しました。

金融経済環境

平成25年度の国内経済は、一年を通して緩やかな上昇を続けました。政府・日銀の金融緩和政策や公共投資関連予算の増加を受けて、設備投資は持ち直しを続け、企業収益も改善しました。また、消費税引き上げに伴う駆け込み需要により住宅建設と個人消費が強まりました。

沖縄県経済は、拡大の動きが強まりました。観光は国内景気の上昇と円安傾向により入域観光客数が国内客・外国人客ともに増勢が続いたことから年度後半には好調に推移しました。建設は沖縄振興予算の増額を受けて公共工事が増加し、住宅建設も消費税引き上げに伴う駆け込み需要により増加したことから好調を続けました。個人消費は自動車や家電などの耐久消費財の盛り上がりにより年度終盤に好調となりました。

営業の経過および成果

このような環境のもと、「現状を突破するための新たなビジネスモデルの確立」を経営目標とする中期経営計画「Break Through 2012」の2年目となる今年度は、「選ばれる銀行へのさらなる加速」をテーマに、ITの活用による生産性の向上、成長分野への支援拡大による法人取引の強化、チャネルや商品・サービスの充実による個人取引の強化に積極的に取り組みました。

主な取り組み実績は以下のとおりです。

生産性の向上では、住宅ローン・消費者ローン自動審査システム「ろんなび」を導入し、リテール与信業務に係るワークフローを電子化することで、個人ローンのご相談から融資の実行までのプロセスを効率化しました。

法人取引の強化では、事業用太陽光発電設備ローン「ていだパワー」を中心に、需要拡大の続く再生可能エネルギー設備への取り組みを引き続き強化したほか、沖縄の豊かで特色のある食品を全国や海外に広めていくため、株式会社沖縄海邦銀行、コザ信用金庫と合同で「沖縄の味力(みりょく)発信商談会」を開催し、ポテン



本店窓口

シャルの高い食品関連産業や農林水産業の販路拡大を支援しました。また、沖縄県内の銀行では初めて沖縄県農業信用基金協会と提携し「りゅうぎんアグリローン」を発売するなど農業者向けサポート体制を充実させました。高齢化の進展に伴い高い成長が見込まれる医療・介護分野への取り組みでは、「医療・介護経営セミナー」を開催するなど積極的な情報提供に努めたほか、医療経営士二級の有資格者が複数在籍する営業統括部医療・福祉推進グループにて営業店と一体となってお取引先の資金ニーズに対応しました。中小企業への経営サポートの一環として取り組んでいるABL(動産・債権担保融資)では、本部・営業店に25名の動産評価アドバイザーを配置することで、目利き力を活かした融資推進体制を強化しました。

個人取引の強化では、県内7カ所目となるローンセンター「北谷ローンセンター」をオープンし、土曜日や日曜日、平日の仕事帰りにも落ち着いた雰囲気です住宅ローンなど個人ローンのご相談ができる拠点を拡大したほか、簡単にローンの試算ができるローンシミュレーション・プログラムをホームページ上に掲載するなど多様なチャネルで利便性の高いサービスを提供しました。商品・サービスの充実では、パートやアルバイト、専業主婦、年金受給者までの幅広い層にご利用いただける「しあわせのフリーローン」を発売したほか、県内の金融機関としては初めて株式会社Tポイント・ジャパンと業務提携を結び、当行が取り扱う金融商品にTポイントを導入しました。預かり資産への取り組みでは、NISA(少額投資非課税制度)口座の開設や利用に向けた推進を強化したほか、新たな投資信託、保険商品を発売するなど商品ラインナップを充実させ、多様化するお客様のニーズに積極的に応えました。

当行が対処すべき課題

日銀の異次元緩和による超低金利水準の継続、地域金融機関やメガバンク、インターネット銀行等との競合の激化など金融環境の変化に加え、顧客ニーズの多様化が進むなど当行を取り巻く環境は大きく変化しています。このようななか、当行は様々な環境変化を的確に捉え、コンプライアンス(法令等遵守)を徹底しながら、お客様お一人、おひとりのニーズにマッチした商品・サービスを提供することで厳しい競争に勝ち抜いていく必要があります。

中期経営計画「Break Through 2012」の最終年度にあたる平成26年度は、これまでに開発を進めてきたIT投資が出揃います。本部・営業店の業務改革も同時に進めワークスタイルの変革、業務の効率化を実現することで、ONE to ONEマーケティングの実践、お客様に感動を与えられる商品・サービスの提供に繋がっていきます。また、平成26年3月、連結子会社であるりゅうぎん保証株式会社の議決権比率の引上げ、持分法適用関連会社である株式会社琉球リースの連結子会社化を決定しており、これまで以上にグループの総合力を発揮した金融サービスの提供に努めていきます。

当行は、常にお客様の立場になって考え、行動することで、お客様との間に高い信頼関係が築かれた「選ばれる銀行」を実現し、地域経済の発展に貢献してまいります。